

## 委員会会議録

(社)滋賀県トラック協会

会議名	第3回「トラックの日」の事業実行委員会
開催日時	平成20年5月7日(水) 13:30~15:45
開催場所	滋賀県トラック総合会館 3F「研修室1」
出席者	委員12名、事務局5名

### 協議内容

開会にあたり竹備委員長からあいさつがあった後、引続いて、岡田副委員長議事進行により協議に入った。

#### (1)平成20年度事業計画(案)策定について

岡田副委員長から「2008年度トラックの日事業概要」について資料に基づき説明があり、続いて出席者に対し意見を求めたところ次の意見があった。

- ・ 今北京オリンピックの聖火リレーが行われているが、リレー方式で繋げていけるような事業を行ってはどうか。
- ・ 地域貢献としてなら少年野球教室でも良いと思う。  
リレー方式の意見が出たが、イメージではあるが県下各地域で空き缶拾いを行い、それをリレー方式で集めてはどうか。最終的には全国で巻き込んで行えば良いと思う。
- ・ 会員の従業員までが何か関わられるような事業が一番良い。例えば、空き缶拾いやゴミ拾い。継続性を考えるなら少年野球教室はどうか。
- ・ 前回意見があったように鹿児島県トラック協会が行っているベストエコドライバーコンテストが良いのではないか。
- ・ 環境問題にスポットをあてたシンポジウムを行ってはどうか。  
その他、ベストエコドライバーコンテスト、びわこ地球市民の森植樹を行ってはどうか。

- ・ 一週間をかけて環境・安全について一連の事業が出来ないか。  
ベストエコドライバーコンテストはサブ事業として行い、メイン事業として先程も意見があったように会員の従業員まで参加し汗をかいて行える事業が出来ないか。例えば、先程も話が出たゴミ拾いでも良い。
- ・ 継続性を考えると少年野球教室が良いと思う。  
もしゴミ拾いを行うなら一ヶ月をかけて行ってはどうか。内外にも大きなアピールが出来ると思う。
- ・ トラックに垂れ幕を付けてゴミ拾いをしてはどうか。アピールが出来ると思う。
- ・ 一般の人は10月9日が「トラックの日」ということは知らない。何か的を絞った事業、例えばゴミ拾いでも良いと思うが出来ないか。
- ・ いかに一般の人にPR出来るかを考えなければならない。
- ・ 以前、協会ではバイオディーゼル燃料走行実験を実施したが、会員の従業員の家から使用済みの天ぷら油を集め、バイオディーゼル燃料を精製している東近江市に寄付出来ないか。
- ・ ベストエコドライバーコンテスト、空き缶拾い、先程の使用済みの天ぷら油を集めて寄付の3本柱で行ってはどうか。
- ・ 我々は道路を使用して商売をしているので、びわ湖一周の空き缶・ペットボトル（他のゴミも含め）拾いはどうか。又、業界の地位向上と我々業界の諸問題を知ってもらうためにパンフレットやチラシを作成し、駅や交差点などで配布してはどうか。
- ・ ベストエコドライバーコンテストの受賞者を一般紙に掲載したり、表彰すると受賞者はもちろん他のドライバーもやる気が出てくるのではないか。
- ・ 広く一般にアピール出来るものが良い。
- ・ 日程的には、10月5日（日）か12日（日）を中心に考えてはどうか。  
メイン会場も必要となる。  
ベストエコドライバーコンテストは良いと思うが、全車がデジタコを登載していないので何の結果に対して表彰するのか？  
鹿児島県トラック協会の実施要領を参考にする。

- ・ ベストエコドライバーコンテストの受賞者に「マイスター」としてワッペン等を作り服に付けてもらってはどうか。  
ゴミ拾い等その日に行う事業結果を受けて、メイン会場となるところで環境問題に関するシンポジウムを行ってはどうか。
- ・ ベストエコドライバーコンテストに参加する人は、例えば乗車歴3年以上、無事故等会社から推薦してもらえる人としてはどうか。
- ・ 「トラックの日」は社会貢献する日である。先程話が出たが、我々業界の諸問題を前に出さない方が良いと思う。
- ・ 安全・環境に関する俳句を募集してはどうか。
- ・ 各会社に使用済みの天ぷら油回収用のドラム缶を置き、一般の人にも協力してもらってはどうか。
- ・ しかし使用済みの天ぷら油を自治体でも回収しているがなかなか集まらないのが現状である。
- ・ この問題は環境対策委員会で検討してもらってはどうか。
- ・ しかし「トラックの日」の事業として実施し、これをきっかけに環境対策委員会で検討して行けば良いのではないか。

この使用済みの天ぷら油を集めバイオディーゼル燃料に精製する件については、今後とも継続して検討することとなった。

少年野球教室について実施するかどうか採決されたところ実施しないこととなったが、滋賀県軟式野球連盟からも熱い要望もあることから今後何かの機会にもし実施出来るようであれば再度検討することとなった。

環境問題に関するシンポジウムについては、もし何かの事業とドッキングして行えるようであれば再度検討することとなった。

以上の意見が出、検討されたところ、ゴミ拾い、ベストエコドライバーコンテストの2本柱とし、広報活動も含め事業部会制で今後進めていくこととなった。

なお、事業部会の委員割振りは正副委員長に一任することとなり、おおよそゴミ拾いの事業担当は5名+事務局、ベストエコドライバーコンテストの事業担当は3名+事務局、広報に関する事業担当は4名+事務局があたることとなった。

次回委員会

日 時 平成20年5月23日(月)10時00分~12時

場 所 滋賀県トラック総合会館